



2022年6月13日

各 位

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス
代表者名 代表取締役社長 矢田 素史
(コード番号 9603 東証プライム)
問合せ先 執 行 役 員 有田 浩三
(TEL 050-1746-4188)

HISグループにおけるガバナンス改善進捗報告

当社は、子会社によるGo To トラベル不正受給問題発生において、グループ内各社におけるコンプライアンス意識の欠如や、親会社と連結子会社間の適切な情報共有の不足に見られる関係会社管理体制の甘さを改善し、HISグループ全体のガバナンス体制を更に強化することが重要課題であると認識しております。

1月18日付「Go To トラベル不正受給問題に関するガバナンス改善について」でお知らせしました、再発防止に向けた改善措置を実施しており、進捗報告を3月17日に行いました。このたび、6月13日時点における進捗を下記のとおりご報告いたします。

記

再発防止に向けた改善措置

(1)コンプライアンス意識の改革

HISグループ内役員、社員の意識を向上させるため、改めてコンプライアンス・リスク管理研修を実施しております。HISおよび戦略上重要な国内外の子会社から始めており、理解度など社員の声も聴きながら拡充してまいります。

また、5月25日にリスク・コンプライアンス委員会を開催し、改善の進捗共有ならびに今後の取り組みについての確認を行いました。

(2)各社取締役会による監督機能の強化

従前当社役職員からの役員任命が行われてこなかった子会社への任命要否も再検討しております。また、現在の任命役職員については見直しを行いましたが、今後も定期的を実施いたします。

(3)親会社による子会社管理の強化

関係会社管理規定の見直しの一環として、経常的取引における異常値の発生や買取りリスクの発生時については、報告を義務化しました。



また、毎月当社のリスク管理室が、関係会社各社より有事発生の有無等について情報収集し、リスク・コンプライアンス委員会開催時に報告を行います。

(4)内部監査の強化

前回報告いたしましたとおり、親会社、子会社共に助成金受給に関する項目を加え、監査を実施しておりますが、その頻度を高めるとともに、未然に誤申請等を防ぐべく報告フローの改善および注意喚起も行いました。

また、担当人員の増強および、ITを駆使したデータ分析の活用により、管理精度を向上させております。

(5)不祥事の早期発見のための取組み

内部通報制度をグループ横断型の制度とし、導入していなかった子会社も利用できるよう委託企業との契約を引き続き進めております。

また、内部通報制度についての研修動画を配信し、アンケートにより認知度を確認しております。

(6)その他の再発防止に向けた改善措置(IT統制について)

当社情報システム担当と、子会社のシステム担当との緊密な連携により、グループ全体におけるセキュリティ・システム開発・運用、各規準の整備を行うべく、HIS社内の規準を再点検いたしました。

社員のシステムセキュリティへの意識向上のため、セキュリティ基準の教育を実施しており、今後も定期的に再確認を行います。

引き続き、リスク・コンプライアンス委員会の活動および関係各署の業務フロー改善を通じて、HISグループの従業員へコンプライアンス意識を浸透させ、維持すると共に、整備した管理体制を強化することで、再発防止、信頼回復に向けてグループ運営の透明性を高めてまいります。

以上